

Ⅱ 職員の健康管理

Ⅱ 職員の健康管理

平成 16 年度の独立行政法人化に伴って、山口大学においても人事院規則から労働安全衛生法に沿った健康診断を計画実施することになった。具体的には、定期健康診断については、山口大学職員労働安全衛生規則第 26 条及び山口大学保健管理センター規則に基づいて年 1 回の実施。また、労働安全衛生規則第 13 条あるいは労働安全衛生法施行令第 22 条に掲げる業務に常時従事している職員(特定業務あるいは特殊業務従事者)に対しては、6 ヶ月(半年)ごとの健康診断実施が義務づけられた。

1. 定期健康診断

1) 対象と概要

職員の健康診断は、山口市(吉田地区<附属幼稚園、小・中学校、特別支援学校を含む>)、宇部市(常盤地区・小串地区)、光市(光地区<附属小・中学校>)の大きく 4 地区に分けて実施している。

本学で実施している基本健診の検査項目と各項目の対象者を表 1 に示した。○印は全員が行う項目(必須項目)、△印は必須項目ではないが希望する者に行う項目を表す。なお、平成 20 年度より検査項目に「腹囲」が追加され、総コレステロールが LDL コレステロールに変更となった。

職員の健康診断に関しては、安全衛生対策室が実施主体であるが、実施計画の立案や外部検査機関との調整は保健管理センターが行っている。職員の健康管理に関しては、定期健康診断実施の通知や対象者の把握、結果報告書の配付などの事務的な作業は安全衛生対策室が担当し、健康診断実施に関する実働的なこと(検査物品の調達・準備や健診会場の設営、健康診断結果の判定作業、結果通知報告書作成など)は、保健管理センターが担当している。

表 1 各検査の対象者および検査項目

検査項目	対象者区分				備考	
	34 才以下	35 才	36~39 才	40 才以上		
基本健診	身体計測(BMI)	○	○	○	○	体脂肪率
	血圧検査	○	○	○	○	
	尿検査	○	○	○	○	蛋白、糖、潜血
	胸部X線検査	○	○	○	○	間接撮影
	聴力検査	○	○	○	○	
	視力検査	○	○	○	○	
	腹囲計測	—	○	—	○	BMI20 未満の人は省略可
	心電図検査	—	○	—	○	
	血液検査	—	○	—	○	末梢血(WBC、RBC、Hb、Ht) 肝機能(AST、ALT、 γ -GT) 脂質(LDL・HDL コレステロール、中性脂肪) その他(血糖、尿酸、血清アミラーゼ) ※H25～総コレステロール、血小板、クレアチニン追加
内科診察	○	○	○	○	自覚症状・他覚症状、既往歴、業務歴等問診票に基づく問診 保健管理センター医師、産業医	
※ 肺がん検診	—	—	—	△	胸部X線(間接)、喀痰検査	
※ 大腸がん検診	—	—	—	△	便潜血反応検査(2日法)	

平成 24 年度及び平成 25 年度の各地区の定期健康診断時期及び実施場所は表 2 の通りであった。

表 2 各地区の実施日および実施場所

	地区名	実施時期	実施場所
平成 24 年度	吉田	基本健診: 8/20(月)~27(月) * 受付: 9:00~11:30 ※ 大腸がん検診(後述の7. がん検診参照)	保健管理センター
		附属学校 ・幼稚園 ・小学校 ・中学校 ・特別支援学校 基本健診: 8/1(水)~2(木) * 受付: 9:30~11:30 ※大腸がん検診(後述7. がん検診参照)	
	小串	基本健診: 9/12(水)~24(月) * 受付: 9:30~12:30、14:00~16:00 ※ 大腸がん検診(後述の7. がん検診参照)	医学部医心館(保健管理センター小串分室) ※9/14・19・24 は胸部 X 線バス 2 台体制 ※9/24 は午前中のみ
	常盤	基本健診: 9/5(水)~7(金) * 受付: 9:00~12:00 ※ 大腸がん検診(後述の7. がん検診参照)	工学部保健室(保健管理センター常盤分室) ※9/7 は 9:00~11:30、13:00~15:00
	光	基本健診: 8/6(月) * 受付: 10:30~12:30 ※ 大腸がん検診(後述の7. がん検診参照)	附属光中学校保健室
平成 25 年度	吉田	基本健診: 8/19(月)~8/26(月) * 受付: 9:00~11:30 ※ 大腸がん検診(後述の7. がん検診参照)	保健管理センター
		附属学校 ・幼稚園 ・小学校 ・中学校 ・特別支援学校 基本健診: 7/25(木)~26(金) * 受付: 9:00~11:30 ※大腸がん検診(後述7. がん検診参照)	
	小串	基本健診: 9/10(火)~20(金) * 受付: 9:30~12:30、14:00~16:00 ※ 大腸がん検診(後述の7. がん検診参照)	医学部医心館(保健管理センター小串分室) ※9/13~20 は胸部 X 線バス 2 台体制 ※9/20 は午前中のみ
	常盤	基本健診: 9/4(水)~6(金) * 受付: 9:00~12:00 ※ 大腸がん検診(後述の7. がん検診参照)	工学部保健室(保健管理センター常盤分室) ※9/6 は 9:00~11:30、13:00~15:00
	光	基本健診: 8/6(火) * 受付: 10:30~12:30 ※ 大腸がん検診(後述の7. がん検診参照)	附属光中学校保健室

2) 方法と手順

学生健康診断と同様に、平成 14 年度から身長・体重測定、血圧測定、尿検査、視力検査について、測定データを測定器からパソコンを介して独自のサーバに自動入力するシステムを用いて実施している。

職員の健康診断では、受診対象者に健康診断問診票を事前配付しており、問診票にあらかじめ印刷された受診者バーコードを用いている。健康診断データ自動入力(取り込み)システムの導入によって、受診者数の増加に伴う健康診断後の膨大なデータ整理作業にかかる手間が軽減された。その一方で、健康診断実施前の物品準備(問診票・バーコード付き尿コップ・胸部 X 線フィルム番号バーコード等)や検査機器とパソコンのセッティングに多少の労力を要し、健康診断要員を複数必要とするデメリットもある。

平成 23 年度からは、健康診断結果報告書作成までの期間短縮を図るため、入力されたデータに基づく健診結果自動判定システムをメディア基盤センター久長先生のご協力を得て、構築し運用している。自動判定システムを導入したことによって、検査所見や事後措置(指導区分)判定が一定の基準で行えるようになり、結果報告書も短期間で作成できるようになった。なお、このシステム導入に伴い、結果報告書の様式を前年分の経過(検査データ)も並べてみられるように変更し、平成 24 年度からは、2 年分の結果を掲載した報告書を通知している。さらに、「要精査」及び「要医療」判定であった者に対して、二次検査受診を促すことを目的とし、二次検査結果報告書様式を作成・発行し、結果報告書とともに通知している。

なお、光地区については、受診者数が少数であることや健診会場の広さ及び準備の都合から、自動入力システムを使用せず、従来通りの方法で健康診断を行い、健康診断後に検査データを手入力している。検査結果の判定は、自動判定システムで行っている。

以下に、これらのシステムを用いた検査の詳細についてまとめた。

①身長・体重計測

測定には全自動身長体重計(BF-220)を 1 台用い、測定器とノート型パソコンを 1 対 1 で対応させている。検査要員として、各事業場の職員担当部署からパソコン操作及び測定結果の間診票への転記のために女性職員(または学外雇用者)を 1 名措置してもらっている。光地区については、全自動身長体重計(BF-220)を用い、手動操作で測定を行っている。

②血圧測定

測定には全自動血圧計(BP203RVⅢB)を 2 台用いて行い、ノート型パソコン 1 台で測定器 2 台を操作する方法で行っている。検査要員として、各事業場の職員担当部署からパソコン操作及び測定結果の間診票への転記のために職員(または学外雇用者)を 1 名措置してもらっている。なお、保健管理センターでは二次検査は実施しておらず、すぐに医療機関へ受診する必要のない者(要観察・要注意)へは、医師の診察時に生活指導を行ったり、保健管理センター内に常時設置してある全自動血圧計で定期的な測定を促し、血圧チャートをつけて経過を見るなどの事後フォローアップを行っている。

③尿検査

検査には自動尿検査器(クリニテックアドバンタス)を 1 台用い、尿検査結果取り込み用パソコンを介して、検査データをサーバに蓄積している。検査手順は、事前準備として尿コップに尿検査番号バーコードを貼付し、検査当日に尿検査受付で間診票に印刷された受診者バーコードと尿検査番号をサーバに登録する。その後、自動尿検査器付属のスキヤナーで検体(尿コップ)の検査番号バーコードを読み取り、通常通りの検査を行う。

このシステムを用いることによって、尿検査結果の後日入力及び入力確認作業が不要となり、検査後の整理業務が大幅に軽減された。なお、受付及び検査は保健管理センターのスタッフが担当している。

二次検査は保健管理センターで実施しておらず、要精密検査の指示のあった者には、各自で専門医療機関を受診するよう指示している。保健管理センターへ個別に相談があった場合には、再検査や生活指導などのアドバイスを行い、必要に応じて医療機関を紹介している。

④胸部 X 線検査

検査は外部の業者に委託してレントゲン車で実施している。具体的な手順としては、学生健康診断の場合とは異なり、①各地区の健康診断に先立ち、対象となる職員の名簿(Excel 形式)をあらかじめ業者にメールで送付しておく。②健康診断当日、胸部 X 線検査受付で胸部 X 線検査受診票にフィルム番号をナンバリングする。③その日の検査終了ごとに受診票を業者が持ち帰り、フィルムの読影後、結果を職員名簿へ入力する。④検査結果は 2 週間後を目安にフロッピーディスクで届けられる。平成 24 年度までは、この手順で実施していたが、平成 25 年度からは、名簿の事前送付などの手間を省略するため、学生健診と同様に、受診受付をパソコンを用いて行う手順に変更した。なお、40 歳以上の職員については、肺がん検診も兼ねるものとし、ハイリスク者及び希望者には喀痰検査(検査容器は事前配付し、受診時に提出)も行っている。また、一次検査の結果「要精査」と判定された有所見者については、保健管理センターの医師が前回までの結果(既往歴の有無など)を確認した上で、必要に応じて、かかりつけ医あるいは大学周辺の医療機関への紹介を行っている。

⑤聴力検査

聴力検査は、オーディオメーター1台を用いて測定している。現在使用しているオーディオメーターは自動入力システムに対応していないため、他の検査と同様に問診票に印刷された受診者バーコードをスキャナーで読み取り、検査結果はパソコンの入力フォームに従ってバーコード操作で健康診断用サーバへデータを蓄積している。検査要員として、パソコン操作及び測定結果の問診票への転記のために、看護職スタッフを1名雇用している。スクリーニングの基準は、1000Hz30dB、4000Hz40dBのレベルで判定している。なお、二次検査は保健管理センターでは実施しておらず、要精密検査の指示のあった者には、各自でかかりつけの医療機関を受診するよう指示するか、個別に相談のあった場合には、専門医療機関への紹介を行っている。

⑥視力検査

測定には全自動視力計(エデック NV300)を2台用いて行い、ノート型パソコン1台で測定器2台を操作する方法で行っている。検査要員として、各事業場の職員担当部署からパソコン操作及び測定結果の問診票への転記のために職員(または学外雇用者)を1名措置してもらっている。

⑦心電図検査

方法は、自動解析付心電計1台及びベット2台を用いて実施しており、保健管理センター看護職1名、介助者1名を雇用して検査を行っている。心電図検査については、現在、自動入力システムには対応していない。基本的には健康診断当日に診察担当医が所見の判定を行っているが、平成23年度からは必要に応じて、循環器内科専門医<保健管理センター非常勤医師>が有所見者の判定を行っている。なお、二次検査は保健管理センターでは実施しておらず、要精密検査の指示のあった者には、各自でかかりつけの医療機関を受診するか、個別に相談のあった場合には、必要に応じて専門医療機関への紹介を行っている。

⑧血液検査

平成17年度から、受付時に受診者番号と採血番号を結び付けて自動取得するシステムを構築して運用している。具体的には、①受診者が受付に持参した問診票に印刷してある受診者バーコードを受付用パソコンにスキャナーで入力する。②採血対象者には受診日ごとに1番から連番で採血番号が配付され、付属のラベルプリンタから採血ラベル(採血番号・採血年月日・氏名)が印刷される(問診票にクリップで添付)。③採血時に受検者が持参した採血ラベルを採血管に貼付して回収する、という方法である。このシステムを導入したことによるメリットとして、①事前の物品準備(採血管と採血ラベルへの番号記入)が不要になった。②受付作業がスムーズになった(採血ラベルへの日付印・氏名転記が不要)、③検体の取り違えの危険性がなくなった(本人の目の前で氏名のシールを貼付)、④予定外の受診者数にも対応可能など、多くの面で業務の効率化が図れた。

採血業務は各地区ともに2人体制で実施しており、保健管理センターの看護職あるいは臨時雇用された看護師が担当している。なお、小串地区(医学部・附属病院)では、多人数に対し短期間で健診を実施するため、医療従事者については病棟等での自己採血制度を設けている。具体的手順は、希望者にあらかじめ採血セット(注射器、採血管、氏名ラベルバーコード)を配付し、受診日当日に採血した検体を健診会場受付に持参してもらっている。健診実施側と受診者側の双方にとって、健診にかかる時間短縮などの面でメリットがある。検査は、外部業者へ委託して実施しており、健康診断期間中は毎日、採血受付名簿とともに検体を回収してもらっている。検査結果は、電子データ(フロッピーディスク)で報告してもらっている。

なお、二次検査は保健管理センターでは実施しておらず、要精密検査の指示のあった者には、各自でかかりつけの医療機関を受診するか、専門医療機関への紹介を行っている。個別に相談のあった場合には、異常値の程度に応じて生活指導をしたり、必要な情報の提供を行っている。

⑨腹囲測定

平成20年度より追加された項目である。手順としては、より計測の正確性を高めるため、心電図検査の直前に更衣を済ませた状態で、保健管理センター看護職あるいは職員担当部署スタッフ(または学外雇用者)がメジャーを用いて計測している。測定結果は問診票に転記し、健診終了後に数値を手入力している。

3) 受診状況

(1) 概況

平成 24 年度及び平成 25 年度の職員健康診断受診状況を表 3～4 に示した。受診者は、保健管理センターで受診した者の他に、雇入時健康診断、人間ドック、その他健康診断の結果を提出した者の総数である。

平成 20 年度の学内規則改正で、職員健康診断の受診義務及び未受診者への措置が明記されたことにより、受診率が大幅に上昇した。全体的にも健康診断受診の意識は高まっていると考えられ、平成 24 年度は 99.7%、平成 25 年度は 99.6% と 100% とは言わないまでも高水準を維持している。平成 23 年度からは、未受診者への対応として、総括安全衛生管理者から未受診者の管理監督者宛に、当該年度の健康診断結果の提出がなかった旨を報告し、次年度の健康診断受診を指導するよう勧告文書を送付している。

また、平成 22 年度から健診受診者の事後措置に対するフォローアップを充実させるため、要精査以上(要医療・要治療)判定区分であった者に対し、二次検査結果の報告を強く求めることとしている。平成 24 年度・平成 25 年度は、二次検査結果報告様式を定め、健康診断結果通知書に同封して、二次検査結果を報告しやすいよう改善を図った。二次検査結果報告の義務は定めておらず、就業上の配慮について検討するため、要医療及び要治療判定区分であった者にはより強く(半強制的)、要精査判定区分であった者には、できる限り報告するよう協力と理解を求めている。今後は、さらなる受診率の向上を図るとともに、健診後のフォローアップについても充実させ、山口大学全体の心身の健康状態を高めるよう働きかけていく必要がある。

表 3 職員健康診断受診状況

平成 24 年度

		対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	未受診者(人)
吉 田	人文学部	55	53	96.4	2
	教育学部	121	120	99.2	1
	経済学部	94	89	94.7	5
	理学部	96	96	100.0	0
	農学部	66	66	100.0	0
	共同獣医学部	73	73	100.0	0
	事務局	318	316	99.4	2
	その他	58	58	100.0	0
	合計	881	871	98.9	10
常盤		374	374	100.0	0
小串		501	501	100.0	0
附属病院		1202	1202	100.0	0
附属学校		168	168	100.0	0
総計		3126	3116	99.7	10

表 4 職員健康診断受診状況

平成 25 年度

		対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	未受診者(人)
吉 田	人文学部	55	55	100.0	0
	教育学部	121	120	99.2	1
	経済学部	92	86	93.5	6
	理学部	97	97	100.0	0
	農学部	66	66	100.0	0
	共同獣医学部	82	79	96.3	3
	事務局	317	316	99.7	1
	その他	63	61	96.8	2
	合計	893	880	98.5	13
常盤		380	380	100.0	0
小串		477	477	100.0	0
附属病院		1233	1233	100.0	0
附属学校		168	168	100.0	0
総計		3151	3138	99.6	13

(2)身体計測 (BMI)

平成 24 年度及び平成 25 年度の BMI 値及び体脂肪率による判定結果を表 5～8 に示した。

表 5 体格判定結果(事業場別)

平成 24 年度

事業場	受検者数	所見内訳				指導区分						
		低体重・体脂肪率低値	適正体重	過体重・過体重傾向	肥満・肥満傾向	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	607	137	341	83	46				21	220	74	292
常盤	270	63	133	62	12				23	106	33	108
小串・附属病院	1526	350	838	181	157				74	474	191	787
附属学校	127	22	72	19	14				12	31	15	69
合計	2530	572	1384	345	229				130	831	313	1256

表 6 体格判定結果(年齢別・性別)

平成 24 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳				指導区分						
			低体重・体脂肪率低値	適正体重	過体重・過体重傾向	肥満・肥満傾向	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
～29	男	132	39	64	18	11			4	35	30	63	
	女	390	122	211	18	39			10	129	40	211	
	計	522	161	275	36	50			14	164	70	274	
30～39	男	339	60	179	82	18			11	107	47	174	
	女	447	137	251	14	45			8	141	47	251	
	計	786	197	430	96	63			19	248	94	425	
40～49	男	344	44	190	91	19			34	134	40	136	
	女	317	83	187	15	32			5	88	38	186	
	計	661	127	377	106	51			39	222	78	322	
50～59	男	210	27	109	55	19			30	86	22	72	
	女	195	32	107	21	35			15	45	30	105	
	計	405	59	216	76	54			45	131	52	177	
60～	男	111	20	65	23	3			10	48	16	37	
	女	45	8	21	8	8			3	18	3	21	
	計	156	28	86	31	11			13	66	19	58	
合計	男	1136	190	607	269	70			89	410	155	482	
	女	1394	382	777	76	159			41	421	158	774	
	計	2530	572	1384	345	229			130	831	313	1256	

表 7 体格判定結果(事業場別)

平成 25 年度

事業場	受検者数	所見内訳				指導区分						
		低体重・体脂肪率低値	適正体重	過体重・過体重傾向	肥満・肥満傾向	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	649	145	359	96	49				35	220	88	306
常盤	275	44	150	54	27				20	103	26	126
小串・附属病院	1494	340	850	181	123				74	448	167	805
附属学校	116	20	68	17	11				7	27	16	66
合計	2534	549	1427	348	210				136	798	297	1303

表 8 体格判定結果(年齢別・性別)

平成 25 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳				指導区分						
			低体重・体脂肪率低値	適正体重	過体重・過体重傾向	肥満・肥満傾向	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
～29	男	113	32	56	20	5			4	32	22	55	
	女	354	109	205	17	23			7	115	27	205	
	計	467	141	261	37	28			11	147	49	260	
30～49	男	355	68	197	65	25			12	92	58	193	
	女	455	127	267	17	44			11	136	41	267	
	計	810	195	464	82	69			23	228	99	460	
40～39	男	326	35	172	103	16			41	120	31	134	
	女	345	86	207	15	37			10	86	44	205	
	計	671	121	379	118	53			51	206	75	339	
50～59	男	223	31	114	64	14			23	103	29	68	
	女	203	31	123	15	34			11	50	24	118	
	計	426	62	237	79	48			34	153	53	186	
60～	男	112	24	64	23	1			11	47	17	37	
	女	48	6	22	9	11			6	17	4	21	
	計	160	30	86	32	12			17	64	21	58	
合計	男	1129	190	603	275	61			91	394	157	487	
	女	1405	359	824	73	149			45	404	140	816	
	計	2534	549	1427	348	210			136	798	297	1303	

男女別にみると、正常範囲であった者は、平成24年度及び平成25年度ともに約6割程度みられ、ここ数年同様の傾向を示している。また、低体重・体脂肪率低値では男女間であまり差はみられず、年齢別にみると、若年者ほど低体重・体脂肪率低値の割合が高く、肥満の割合が低い傾向がみられた。

(3) 腹囲計測

平成24年度及び平成25年度の腹囲判定結果を表9～12に示した。

男女別にみると、正常範囲であった者は、平成24年度及び平成25年度ともに男性では約5割程度だが、女性では9割以上の方でみられ、ここ数年同様の傾向を示している。年齢別にみると、若年者ほどやせの割合が高く、40歳以上になると腹囲異常の割合が高い傾向がみられた。

表9 腹囲判定結果(事業場別)

平成24年度

事業場	受検者数	所見内訳			指導区分						
		適正範囲	腹囲増加傾向	腹囲増加	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	379	262	100	17				17	100		262
常盤	175	103	51	21				21	51		103
小串・附属病院	716	545	121	50				50	121		545
附属学校	80	60	10	10				10	10		60
合計	1350	970	282	98				98	282		970

表10 腹囲判定結果(年齢別・性別)

平成24年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳			指導区分						
			適正範囲	腹囲増加傾向	腹囲増加	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
～29	男	3	2	1					1		2	
	女	5	5								5	
	計	8	7	1					1		7	
30～39	男	50	27	19	4				4	19	27	
	女	70	69	1					1		69	
	計	120	96	20	4				4	20	96	
40～49	男	344	192	118	34				34	118	192	
	女	317	307	6	4				4	6	307	
	計	661	499	124	38				38	124	499	
50～59	男	210	102	78	30				30	78	102	
	女	195	173	9	13				13	9	173	
	計	405	275	87	43				43	87	275	
60～	男	111	58	43	10				10	43	58	
	女	45	35	7	3				3	7	35	
	計	156	93	50	13				13	50	93	
合計	男	718	381	259	78				78	259	381	
	女	632	589	23	20				20	23	589	
	計	1350	970	282	98				98	282	970	

表11 腹囲判定結果(事業場別)

平成25年度

事業場	受検者数	所見内訳			指導区分						
		適正範囲	腹囲増加傾向	腹囲増加	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	413	278	104	31				31	104		278
常盤	191	122	50	19				19	50		122
小串・附属病院	699	542	106	51				51	106		542
附属学校	73	58	10	5				5	10		58
合計	1376	1000	270	106				106	270		1000

表 12 腹囲判定結果(年齢別・性別)

平成 25 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳			指導区分						
			適正範囲	腹囲増加傾向	腹囲増加	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
～29	男	2	1	1					1			1
	女	6	6									6
	計	8	7	1					1			7
30～39	男	56	40	11	5				5	11		40
	女	63	62		1				1			62
	計	119	102	11	6				6	11		102
40～49	男	324	190	93	41				41	93		190
	女	341	322	10	9				9	10		322
	計	665	512	103	50				50	103		512
50～59	男	222	105	94	23				23	94		105
	女	202	178	14	10				10	14		178
	計	424	283	108	33				33	108		283
60～	男	112	60	41	11				11	41		60
	女	48	36	6	6				6	6		36
	計	160	96	47	17				17	47		96
合計	男	716	396	240	80				80	240		396
	女	660	604	30	26				26	30		604
	計	1376	1000	270	106				106	270		1000

(4) 血圧測定

平成 24 年度及び平成 25 年度の血圧測定結果を表 13～16 に示した。

表 13 血圧判定結果(事業場別)

平成 24 年度

事業場	受検者数	所見内訳					指導区分						
		低血圧	適正血圧	高血圧傾向	軽症高血圧	高血圧	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	607	1	495	48	37	26			25	38	49		495
常盤	270		218	30	8	14			14	8	30		218
小串・附属病院	1525	18	1346	91	42	28			28	42	109		1346
附属学校	127		110	12	3	2			2	3	12		110
合計	2529	19	2169	181	90	70			69	91	200		2169

表 14 血圧判定結果(年齢別・性別)

平成 24 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳					指導区分						
			低血圧	適正血圧	高血圧傾向	軽症高血圧	高血圧	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
～29	男	132		121	9	1	1			1	1	9		121
	女	390	10	373	4	1	2			1	2	14		373
	計	522	10	494	13	2	3			2	3	23		494
30～39	男	339		301	24	10	4			4	10	24		301
	女	446	7	431	5	3				3	12		431	
	計	785	7	732	29	13	4			4	13	36		732
40～49	男	344		259	53	19	13			13	19	53		259
	女	317	2	291	13	7	4			4	7	15		291
	計	661	2	550	66	26	17			17	26	68		550
50～59	男	210		138	35	21	16			16	21	35		138
	女	195		154	17	18	6			6	18	17		154
	計	405		292	52	39	22			22	39	52		292
60～	男	111		70	16	8	17			17	8	16		70
	女	45		31	5	2	7			7	2	5		31
	計	156		101	21	10	24			24	10	21		101
合計	男	1136		889	137	59	51			51	59	137		889
	女	1393	19	1280	44	31	19			18	32	63		1280
	計	2529	19	2169	181	90	70			69	91	200		2169

表 15 血圧判定結果(事業場別)

平成 25 年度

事業場	受検者数	所見内訳					指導区分						
		低血圧	適正血圧	高血圧傾向	軽症高血圧	高血圧	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	648	5	539	53	17	34			34	17	58		539
常盤	275		220	31	13	11			11	13	31		220
小串・附属病院	1494	14	1307	97	44	32			32	44	111		1307
附属学校	116		102	4	6	4			4	6	4		102
合計	2533	19	2168	185	80	81			81	80	204		2168

表 16 血圧判定結果(年齢別・性別)

平成 25 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳					指導区分						
			低血圧	適正血圧	高血圧傾向	軽症高血圧	高血圧	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
~29	男	113	1	105	6		1		1		7		105	
	女	354	6	341	4	3				3	10		341	
	計	467	7	446	10	3	1		1	3	17		446	
30~39	男	355		311	26	7	11			11	7	26	311	
	女	455	9	430	12	2	2		2	2	21		430	
	計	810	9	741	38	9	13		13	9	47		741	
40~49	男	326	1	254	38	17	16			16	17	39	254	
	女	345	1	315	14	7	8		8	7	15		315	
	計	671	2	569	52	24	24		24	24	54		569	
50~59	男	223		148	41	16	18			18	16	41	148	
	女	203	1	160	21	12	9		9	12	22		160	
	計	426	1	308	62	28	27		27	28	63		308	
60~	男	111		71	16	12	12			12	12	16	71	
	女	48		33	7	4	4		4	4	7		33	
	計	159		104	23	16	16		16	16	23		104	
合計	男	1128	2	889	127	52	58			58	52	129	889	
	女	1405	17	1279	58	28	23		23	28	75		1279	
	計	2533	19	2168	185	80	81		81	80	204		2168	

男女別にみると、各年度ともに、概ね 8 割以上の方は適正血圧に該当しているものの、男性と比較して女性の方が適正血圧の割合が多く、血圧が高くなるにつれ、男性の比率が高くなる傾向がみられた。また、年齢別にみると、年齢層が高くなるにつれて適正血圧の割合が低くなり、高血圧に該当する者の割合が増加する傾向がみられた。血圧値は、測定手順や測定環境の影響を少なからず受けることが考えられるため、健康診断時には服装や測定のタイミング、室温や緊張感を与えない雰囲気等の環境づくりにも配慮する必要がある。

(5) 尿検査

平成 24 年度及び平成 25 年度の尿検査結果を表 17~20 に示した。

表 17 尿検査結果(事業場別)

平成 24 年度

事業場	受検者数	所見内訳				指導区分						
		なし	蛋白尿	糖尿	潜血尿	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	604	339	147	11	151			36		71	158	339
常盤	270	155	81	1	55			9	1	24	81	155
小串・附属病院	1524	820	317	24	501			109	5	241	349	820
附属学校	127	71	30	2	33			8	1	15	32	71
合計	2525	1385	575	38	740			162	7	351	620	1385

※蛋白尿・潜血尿は(±)以上、糖尿は(+)以上を所見ありとした。所見は延べ数

表 18 尿検査結果(年齢別・性別)

平成 24 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳				指導区分						
			なし	蛋白尿	糖尿	潜血尿	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
～29	男	132	95	28	4	9			5		5	27	95
	女	390	189	118	4	125			26	2	68	105	189
	計	522	284	146	8	134			31	2	73	132	284
30～39	男	339	225	78	3	51			11		19	84	225
	女	443	208	107	6	177			31	1	99	104	208
	計	782	433	185	9	228			42	1	118	188	433
40～49	男	344	230	70	8	51			17	1	20	76	230
	女	316	133	66	5	142			28	3	70	82	133
	計	660	363	136	13	193			45	4	90	158	363
50～59	男	210	130	48	4	45			7		17	56	130
	女	195	86	27	1	98			23		38	48	86
	計	405	216	75	5	143			30		55	104	216
60～	男	111	70	25	2	24			8		9	24	70
	女	45	19	8	1	18			6		6	14	19
	計	156	89	33	3	42			14		15	38	89
合計	男	1136	750	249	21	180			48	1	70	267	750
	女	1389	635	326	17	560			114	6	281	353	635
	計	2525	1385	575	38	740			162	7	351	620	1385

表 19 尿検査結果(事業場別)

平成 25 年度

事業場	受検者数	所見内訳				指導区分						
		なし	蛋白尿	糖尿	潜血尿	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	648	405	94	14	166			33	2	60	148	405
常盤	274	184	22	5	75			13	2	21	54	184
小串・附属病院	1492	779	333	18	519			103	3	229	378	779
附属学校	116	79	7	1	31			9		12	16	79
合計	2530	1447	456	38	791			158	7	322	596	1447

※蛋白尿・潜血尿は(±)以上、糖尿は(+)以上を所見ありとした。所見は延べ数

表 20 尿検査結果(年齢別・性別)

平成 25 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳				指導区分						
			なし	蛋白尿	糖尿	潜血尿	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
～29	男	113	83	24	1	7			2		1	27	83
	女	354	166	108	1	113			15		66	107	166
	計	467	249	132	2	120			17		67	134	249
30～39	男	355	268	44	4	55			13	1	12	61	268
	女	453	222	106	4	176			32	3	81	115	222
	計	808	490	150	8	231			45	4	93	176	490
40～49	男	325	247	43	5	42			12		19	47	247
	女	345	148	46	8	180			34	1	81	81	148
	計	670	395	89	13	222			46	1	100	128	395
50～59	男	222	145	36	10	47			12	1	15	49	145
	女	203	88	31	1	104			25		33	57	88
	計	425	233	67	11	151			37	1	48	106	233
60～	男	112	56	17	3	44			9	1	6	40	56
	女	48	24	1	1	23			4		8	12	24
	計	160	80	18	4	67			13	1	14	52	80
合計	男	1127	799	164	23	195			48	3	53	224	799
	女	1403	648	292	15	596			110	4	269	372	648
	計	2530	1447	456	38	791			158	7	322	596	1447

所見なしの者は、平成 24 年度及び平成 25 年度では 50%～60%であった。これまで女性で月経中の者については、潜血尿の所見があっても医師の判断で所見なしとしていたところを、平成 22 年度から有所見としてカウントし、所見を「尿所見異常(生理中)」として指導区分で便宜を図るよう変更されたことが影響していると思われる。なお、健診当日に尿検査を実施できない者については、後日でも検査を受検できるよう配慮している。

(6) 聴力検査

平成 24 年度及び平成 25 年度の聴力検査結果を表 21～24 に示した。

表 21 聴力検査結果(事業場別)

平成 24 年度

事業場	受検者数	所見内訳								指導区分						
		正常		高音域聴力低下		低音域聴力低下		聴力低下		a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
		右	左	右	左	右	左	右	左							
吉田	607	570	569	22	23	3	4	12	11			3		50		554
常盤	270	258	253	8	11	1	1	3	4			1	3	14		251
小串・附属病院	1526	1497	1492	20	26	2	3	7	5			9		38		1497
附属学校	127	125	127	2	1									3		124
合計	2530	2450	2441	52	61	6	8	22	20			13	3	105		2426

表 22 聴力検査結果(年齢別・性別)

平成 24 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳								指導区分						
			正常		高音域聴力低下		低音域聴力低下		聴力低下		a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
			右	左	右	左	右	左	右	左							
～29	男	132	132	131		1								1		131	
	女	390	388	389					2	1				3		387	
	計	522	520	520		1			2	1				4		518	
30～39	男	339	334	334	2	1			3	4		2	1	6		330	
	女	447	444	445	1	1	1	1	1					4		443	
	計	786	778	779	3	2	1	1	4	4		2	1	10		773	
40～49	男	344	334	336	6	7	1		3	1				13		331	
	女	317	310	308	7	8		1			3		10		304		
	計	661	644	644	13	15	1	1	3	1		3		23		635	
50～59	男	210	192	189	14	14	1	1	3	6		2	2	21		185	
	女	195	190	188	4	5		1	1	1		1		9		185	
	計	405	382	377	18	19	1	2	4	7		3	2	30		370	
60～	男	111	85	80	16	20	2	4	8	7		4		33		74	
	女	45	41	41	2	4	1		1			1		5		39	
	計	156	126	121	18	24	3	4	9	7		5		38		113	
合計	男	1136	1077	1070	38	43	4	5	17	18		8	3	74		1051	
	女	1394	1373	1371	14	18	2	3	5	2		5		31		1358	
	計	2530	2450	2441	52	61	6	8	22	20		13	3	105		2409	

表 23 聴力検査結果(事業場別)

平成 25 年度

事業場	受検者数	所見内訳								指導区分						
		正常		高音域聴力低下		低音域聴力低下		聴力低下		a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
		右	左	右	左	右	左	右	左							
吉田	648	605	602	27	33	3	4	13	9			8		53		587
常盤	275	262	259	9	11			4	5			2		15		258
小串・附属病院	1494	1468	1471	17	18	3	3	6	2			5		34		1455
附属学校	116	112	113	3	3	1								5		111
合計	2533	2447	2445	56	65	7	7	23	16			15		107		2411

表 24 聴力検査結果(年齢別・性別)

平成 25 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳								指導区分						
			正常		高音域聴力低下		低音域聴力低下		聴力低下		a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
			右	左	右	左	右	左	右	左							
～29	男	113	111	112		1			2			1		2		110	
	女	354	351	353	1		1		1	1				4		350	
	計	467	462	465	1	1	1		3	1		1		6		460	
30～39	男	355	352	353	1		1	2	1	2				5		350	
	女	455	450	453	2		1		2					5		450	
	計	810	802	806	3		2	2	3	2				10		800	
40～49	男	325	313	313	6	9	1	1	5	2		2		15		308	
	女	345	341	337	4	7		1				2		7		336	
	計	670	654	650	10	16	1	2	5	2		4		22		644	
50～59	男	223	206	207	15	13			2	3		2		21		200	
	女	203	197	196	6	7						3		5		195	
	計	426	403	403	21	20			2	3		5		26		395	
60～	男	112	84	77	19	25	2	2	7	8		5		37		70	
	女	48	42	44	2	3	1	1	3					6		42	
	計	160	126	121	21	28	3	3	10	8		5		43		112	
合 計	男	1128	1066	1062	41	48	4	5	17	15		10		80		1038	
	女	1405	1381	1383	15	17	3	2	6	1		5		27		1373	
	計	2533	2447	2445	56	65	7	7	23	16		15		107		2411	

高齢になるにつれて、有所見者の割合が多くなっており、特に高音域難聴の所見を呈する者が目立っていた。聴力検査の所見には、検査環境が少なからず影響していると思われる。現時点においても、聴力検査を実施する部屋は、設備の都合上、完全に防音できていないため、検査時の周囲の環境次第では誤判定してしまうことが否定できない。なお、検査担当者に看護職を配置するなどして、操作手順上の精度は改善されたと思われるが、環境設備面に関しては、今後も引き続き、検査の正確性を確保するための工夫や配慮が必要と思われる。

(7) 胸部 X 線検査

平成 24 年度及び平成 25 年度の胸部 X 線検査結果を表 25～28 に示した。

この 2 年間についても受検者数が年々増加する傾向を示しており、大学法人化以降、労働安全衛生法の適用を受け、健康診断受診に対する意識改革がより浸透してきた結果であると思われる。

受診者は年々増加に伴い、有所見者も増加する傾向がみられる。

表 25 胸部 X 線検査結果(事業場別)

平成 24 年度

事業場	間接撮影				直接撮影(精密検査)						
	受検者数	有所見者	指導区分		対象者		受検者数	指導区分			
			D2	C1	要精査者	既往者		D3	D2	C1	
吉田	615	16	12	4	4		4		2	2	
常盤	270	26	24	2	2		2		2		
小串・附属病院	1512	121	99	22	22		21		18	1	2
附属学校	125	3	2	1	1						
合 計	2522	166	137	29	29		27		22	3	2

表 26 胸部 X 線検査結果(年齢別・性別)

平成 24 年度

年齢	性別	間接撮影				直接撮影(精密検査)					
		受検者数	有所見者	指導区分		対象者		受検者数	指導区分		
				D2	C1	要精査者	既往者		D3	D2	C1
～29	男	140	6	2	4	4		4	4		
	女	397	10	6	4	4		4	1	3	
	計	537	16	8	8	8		8	5	3	
30～39	男	420	13	11	2	2		2	2		
	女	350	13	10	3	3		2	2		
	計	770	26	21	5	5		4	4		
40～49	男	338	22	16	6	6		5	2	1	
	女	320	24	21	3	3		3	2	2	
	計	658	46	37	9	9		8	4	3	
50～59	男	196	19	18	1	1		1		1	
	女	208	31	27	4	4		4	1	2	1
	計	404	50	45	5	5		5	1	3	1
60～	男	43	16	15	1	1		1	1		
	女	110	12	11	1	1		1	1		
	計	153	28	26	2	2		2	2		
合計	男	1146	76	62	14	14		13	11	2	
	女	1376	90	75	15	15		14	7	6	1
	計	2522	166	137	29	29		27	18	8	1

表 27 胸部 X 線検査結果(事業場別)

平成 25 年度

事業場	間接撮影				直接撮影(精密検査)					
	受検者数	有所見者	指導区分		対象者		受検者数	指導区分		
			D2	C1	要精査者	既往者		D3	D2	C1
吉田	656	48	30	18	18		13	10	2	1
常盤	277	18	10	8	8		7	5	2	
小串・附属病院	1473	115	68	47	47		44	30	13	1
附属学校	113	11	7	4	4		3	3		
合計	2519	192	115	77	77		67	48	17	2

表 28 胸部 X 線検査結果(年齢別・性別)

平成 25 年度

年齢	性別	間接撮影				直接撮影(精密検査)					
		受検者数	有所見者	指導区分		対象者		受検者数	指導区分		
				D2	C1	要精査者	既往者		D3	D2	C1
～29	男	125	2	1	1	1					
	女	359	17	9	8	8		8	6	2	
	計	484	19	10	9	9		8	6	2	
30～39	男	363	25	13	12	12		12	10	2	
	女	432	18	6	12	12		12	10	2	
	計	795	43	19	24	24		24	20	4	
40～49	男	323	25	18	7	7		4	1	3	
	女	349	22	11	11	11		10	10		
	計	667	47	29	18	18		14	11	3	
50～59	男	210	25	18	7	7		6	4	2	
	女	202	25	17	8	8		8	4	2	2
	計	412	50	25	15	15		14	8	4	2
60～	男	110	23	15	8	8		5	1	4	
	女	46	10	7	3	3		2		2	
	計	156	33	22	11	11		7	1	6	
合計	男	1131	100	65	35	35		27	16	11	
	女	1388	92	50	42	42		40	30	8	2
	計	2519	192	115	77	77		67	46	19	2

精密検査の対象者のうち、肺野で異常所見がみられ、二次検査結果が判明した所見としては、無気肺、高度の気胸、前縦隔腫瘍(疑い)、悪性リンパ腫(疑い)などであった。また、肺野結節影と判定された所見に関しては、陳旧性炎症、陳旧性胸膜肥厚、非結核性抗酸菌症(疑い)などがみられた。なお、この2年間についても新規の肺結核は発見されず、この10年間において定期健診での新規肺結核患者はみられなかった。

(8) 血液検査

平成24年度及び平成25年度の血液検査結果を表29～32に示した。

表29 血液検査結果(事業場別)

平成24年度

事業場	受検者数	有所見者数		指導区分						
				a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	539	血液一般(貧血)	42		1	12			29	497
		血液一般(貧血以外)	32			4		9	19	508
		肝機能	96			34	54	8	6	437
		脂質代謝	251		8	76	104	41	83	227
		糖代謝	86	1	2	17	10	56		453
		痛風	87		1	25	54		7	452
		腎機能	0							
常盤	249	血液一般(貧血)	27			10			17	222
		血液一般(貧血以外)	17			2		9	6	232
		肝機能	51			16	28	7		198
		脂質代謝	114		5	22	61	16	10	135
		糖代謝	35		2	5	5	23		214
		痛風	55		1	13	36		5	194
		腎機能	0							
小串・附属病院	1326	血液一般(貧血)	85		3	27			55	1241
		血液一般(貧血以外)	104			14		40	50	1227
		肝機能	199			72	107	18	2	1127
		脂質代謝	723		9	102	228	106	287	594
		糖代謝	128		3	20	27	78		1198
		痛風	155			22	84		49	1171
		腎機能	0							
附属学校	118	血液一般(貧血)	4						4	114
		血液一般(貧血以外)	4					2	2	114
		肝機能	26			13	12		1	92
		脂質代謝	59		7	13	23	6	24	45
		糖代謝	10		1		3	6		108
		痛風	20			9	9		2	98
		腎機能	0							
合計	2232	血液一般(貧血)	158		4	49			105	2074
		血液一般(貧血以外)	157			20		60	77	2081
		肝機能	372			135	201	33	9	1854
		脂質代謝	1147		29	213	416	169	404	1001
		糖代謝	259	1	8	42	45	163		1973
		痛風	317		2	69	183		63	1915
		腎機能	0							

表 30 血液検査結果(年齢別・性別)

平成 24 年度

年齢	性別	受検者数	有所見者数		指導区分							
					a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3	
～29	男	98	血液一般(貧血)	4							4	94
			血液一般(貧血以外)	3						3		95
			肝機能	14			9	4			1	84
			脂質代謝	43	4		5	15	9	10	55	
			糖代謝	8			3	1	4		90	
			痛風	25			7	16		2	73	
			腎機能	0								
	女	294	血液一般(貧血)	9			5				4	285
			血液一般(貧血以外)	22			1		9	12	272	
			肝機能	15			3	8	3	1	279	
			脂質代謝	126			8	15	28	75	168	
			糖代謝	27			5	1	21		267	
			痛風	25				1		14	279	
			腎機能	0								
30～39	男	242	血液一般(貧血)	5						5	237	
			血液一般(貧血以外)	15			1		9	5	227	
			肝機能	70			31	34	5		172	
			脂質代謝	129	5		32	56	14	22	113	
			糖代謝	24	1		4	4	15		218	
			痛風	66	1		13	47		5	176	
			腎機能	0								
	女	376	血液一般(貧血)	33		3	13				17	343
			血液一般(貧血以外)	21			6		9	6	357	
			肝機能	26			2	16	8	2	348	
			脂質代謝	162	1		9	37	28	116	185	
			糖代謝	33			2	3	28		343	
			痛風	13				1		12	363	
			腎機能	0								
40～49	男	344	血液一般(貧血)	18			3			15	326	
			血液一般(貧血以外)	24			2		11	11	320	
			肝機能	101			48	46	7		243	
			脂質代謝	205	8		53	94	37	13	139	
			糖代謝	40	1		5	6	28		364	
			痛風	105	1		28	71		5	239	
			腎機能	0								
	女	317	血液一般(貧血)	45			17				28	272
			血液一般(貧血以外)	22			4		5	13	295	
			肝機能	27			7	16	2	2	290	
			脂質代謝	174	3		17	39	20	95	143	
			糖代謝	22	2		2	4	14		295	
			痛風	17				1		16	300	
			腎機能	0								
50～59	男	210	血液一般(貧血)	15			3			12	195	
			血液一般(貧血以外)	12			1		4	7	198	
			肝機能	51			20	28	3		159	
			脂質代謝	130	4		30	60	15	21	80	
			糖代謝	42	3		7	10	22		168	
			痛風	45			14	28		3	165	
			腎機能	0								
	女	195	血液一般(貧血)	14		1	4				9	181
			血液一般(貧血以外)	20			2		5	13	175	
			肝機能	33			6	23	4		162	
			脂質代謝	128	4		28	52	10	34	67	
			糖代謝	23	1		1	6	15		172	
			痛風	5				2		3	190	
			腎機能	0								
60～	男	111	血液一般(貧血)	15			4			11	96	
			血液一般(貧血以外)	11			1		3	7	100	
			肝機能	26			8	17	1		85	
			脂質代謝	67			20	34	8	5	44	
			糖代謝	32	1		11	5	15		79	
			痛風	26			7	16		3	85	
			腎機能	0								
	女	45	血液一般(貧血)	0								
			血液一般(貧血以外)	7			2		2	3	38	
			肝機能	10			1	9			35	
			脂質代謝	28			11	14		3	17	
			糖代謝	8			2	5	1		37	
			痛風	0							45	
			腎機能	0								

検査項目は、末梢血検査(赤血球、白血球、ヘマトクリット、ヘモグロビン)、肝機能検査(GOT、GPT、 γ -GT)、脂質検査(LDL コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪)、その他(血糖、血清アミラーゼ、尿酸)である。なお、本学では脂質検査として長年、総コレステロールを項目の1つとしていたが、平成20年度以降、特定健診開始及び労働安全衛生法改正に伴い、LDL コレステロールに変更した。また、平成21年度には、特定健診に併せて一部検査項目(末梢血、GOT、GPT、血清アミラーゼ)の基準値が変更されている。

また、平成17年度までは、血液検査の対象年齢を35歳及び40歳以上の者と、若年であっても医師の指示があった者としていたが、平成18年度以降、受診者の要望に応える形で予算が措置され、20歳・25歳・30歳の節目年齢に加え、39歳以下の希望者にも血液検査を実施することが可能となった。血液検査対象者の増加に伴い、健診当日の混雑や結果判定の整理にかかる作業量が増えたことも否めない。健診後の事後処理の効率化を図るため、平成23年に健診結果自動判定システムを構築・導入した。スムーズな運用のためには、まだ若干の改良が必要であるが、整理作業の簡略化は実現できたと思われる。

なお、平成24年度及び平成25年度ともに、基準値を外れた有所見者の割合は、LDL コレステロール、中性脂肪、 γ -GTの順で多い傾向がみられ、これは、前回調査期間(H22・H23)と同様の傾向であった。

表 31 血液検査結果(事業場別)

平成25年度

事業場	受検者数	有所見者数		指導区分							
				a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3	
吉田	584	血液一般(貧血)	57			16				41	527
		血液一般(貧血以外)	59			6			15	38	525
		肝機能	104			46	48	9	1	480	
		脂質代謝	364		18	99	122	55	70	220	
		糖代謝	112	2	5	18	12	75		472	
		痛風	94		2	31	49	12		490	
		腎機能	41		1		1	39		543	
		常盤	258	血液一般(貧血)	25			6		6	19
血液一般(貧血以外)	27			4		9	14	231			
肝機能	50			29	17	4		208			
脂質代謝	173		3	46	65	19	40	85			
糖代謝	32		2	5	7	18		226			
痛風	43			14	23	6		215			
腎機能	10					10		248			
小串・附属病院	1352	血液一般(貧血)	120		2	51				67	1232
		血液一般(貧血以外)	118			9	45	64		1234	
		肝機能	202			62	117	19	4	1150	
		脂質代謝	842	1	20	167	246	130	278	510	
		糖代謝	127		2	10	22	93		1225	
		痛風	131			24	68		39	1221	
		腎機能	57				1	56		1295	
		附属学校	111	血液一般(貧血)	3			1			2
血液一般(貧血以外)	2							2		109	
肝機能	19				1	11	7			92	
脂質代謝	74				9	21	18	4	22	37	
糖代謝	10				1	3	1	5		101	
痛風	17					9	7	1		104	
腎機能	3							3		108	
合計	2305			血液一般(貧血)	205		2	74		6	129
		血液一般(貧血以外)	206			19	45	90	52	2099	
		肝機能	375		1	148	189	32	5	1930	
		脂質代謝	1453	1	50	333	451	208	410	852	
		糖代謝	281	2	10	36	42	191		2024	
		痛風	285		2	78	147	19	39	2030	
		腎機能	111		1		2	108		2194	

表 32 血液検査結果(年齢別・性別)

平成 25 年度

年齢	性別	受検者数	有所見者数		指導区分								
					a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3		
～29	男	88	血液一般(貧血)	6							6	82	
			血液一般(貧血以外)	6				2		1	3	82	
			肝機能	18				7	9	2		70	
			脂質代謝	49		2		7	13	14	13	39	
			糖代謝	12		1		11				76	
			痛風	24				10	11	3		64	
			腎機能	4						4		84	
	女	297	血液一般(貧血)	16				5			11	286	
			血液一般(貧血以外)	24				2		12	10	273	
			肝機能	23				5	12	4	2	274	
			脂質代謝	177		1		19	18	41	98	120	
			糖代謝	21				1	3	17		276	
			痛風	10		1					9	287	
			腎機能	8						8		284	
30～39	男	271	血液一般(貧血)	15				1			14	256	
			血液一般(貧血以外)	11				1		5	5	260	
			肝機能	63		1		36	22	4		208	
			脂質代謝	162		7		45	64	21	25	109	
			糖代謝	35				8	2	25		236	
			痛風	61				21	38	2		210	
			腎機能	11						11		260	
	女	396	血液一般(貧血)	38				19			19	358	
			血液一般(貧血以外)	22				2		6	14	374	
			肝機能	30				2	22	6		366	
			脂質代謝	231		4		25	47	34	121	165	
			糖代謝	41				4	3	34		354	
			痛風	16					1	15		380	
			腎機能	20						20		376	
40～49	男	326	血液一般(貧血)	17				1			16	310	
			血液一般(貧血以外)	23				3	12	8		303	
			肝機能	76				37	35	4		250	
			脂質代謝	224		10		73	89	32	20	102	
			糖代謝	46		1		0	5	10	30	280	
			痛風	83				1	24	56	2	243	
			腎機能	17						17		309	
	女	345	血液一般(貧血)	65				2	39			24	282
			血液一般(貧血以外)	39					4		17	18	327
			肝機能	41					10	26	2	3	304
			脂質代謝	198		4		30	50	26	88	147	
			糖代謝	27		4		2	2	19		318	
			痛風	14								14	331
			腎機能	7						7		338	
50～59	男	222	血液一般(貧血)	23				4			19	199	
			血液一般(貧血以外)	23				1		5	17	199	
			肝機能	57				31	21	5		165	
			脂質代謝	154		5		45	63	30	11	68	
			糖代謝	44		3		8	9	24		178	
			痛風	47		1		16	28		2	175	
			腎機能	14		1				13		208	
	女	202	血液一般(貧血)	8				4			4	194	
			血液一般(貧血以外)	29				2		6	21	173	
			肝機能	29				7	19	3		173	
			脂質代謝	148		10		50	56	8	23	54	
			糖代謝	21		1		6		14		181	
			痛風	5				2		3		197	
			腎機能	8						8		194	
60～	男	110	血液一般(貧血)	17				1		16		93	
			血液一般(貧血以外)	17				1		3	13	93	
			肝機能	26				8	17	1		84	
			脂質代謝	72		4		25	32	2	9	38	
			糖代謝	24		2		5	6	11		86	
			痛風	23				7	10	6		87	
			腎機能	18					1	17		92	
	女	48	血液一般(貧血)	0								48	
			血液一般(貧血以外)	8				1		4	3	40	
			肝機能	12				5	6	1		36	
			脂質代謝	38		3		14	19	2		10	
			糖代謝	10				3	1	6		38	
			痛風	2							2	46	
			腎機能	4					1	3		44	

(9) 心電図検査

平成 24 年度及び平成 25 年度の心電図検査結果を表 33～36 に示した。表中の数字は、各所見に該当する有所見者の人数を延べ数で示している。

表 33 心電図検査結果(事業場別)

平成 24 年度

事業場	受検者数	所見内訳						指導区分						
		正常範囲内	ST-T変化	Q波	高電位	不整脈	その他所見	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	379	274	19	2	2	14	84			29		31	45	274
常盤	175	140	4	1	2	9	24			10	2	20	3	140
小串・附属病院	710	576	29	1	7	14	88			44		67	23	576
附属学校	81	53	1		2		25			2		7	19	53
合計	1345	1043	53	4	13	37	221			85	2	125	90	1043

※ ST-T 変化には、ST 低下(上昇)・陰性 T・平低 T・高い T 波を含む

※ 不整脈には、上室性期外収縮・心室性期外収縮・房室ブロック・心房細動・WPW 症候群・ブルガダ症候群を含む

表 34 心電図検査結果(年齢別・性別)

平成 24 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳						指導区分					
			正常範囲内	ST-T変化	Q波	高電位	不整脈	その他所見	a1	b1	c1	c2	d2	d3
～29	男	2	1				1			1				1
	女	7	4				1		3	1		2		4
	計	9	5				2		3	2		2		5
30～39	男	49	39	1			1	10		2		3	5	39
	女	65	54	2			2	7		3		5	3	54
	計	114	93	3			3	17		5		8		93
40～49	男	344	277	6	2	5	5	54		17		28	22	277
	女	317	256	9		1	4	48		8		28	25	256
	計	661	533	15	2	6	9	102		25		56	47	533
50～59	男	210	156	7	1	2	11	37		21	2	16	15	156
	女	195	147	17		2	4	27		12		26	10	147
	計	405	303	24	1	4	15	64		33	2	42	25	303
60～	男	111	76	8		1	7	29		17		14	4	76
	女	45	33	3	1	2	1	6		3		3	6	33
	計	156	109	11	1	3	8	35		20		17	10	109
合計	男	716	549	22	3	8	25	130		58	2	61	46	549
	女	629	494	31	1	5	12	91		27		64	44	494
	計	1345	1043	53	4	13	37	221		85	2	125	90	1043

表 35 心電図検査結果(事業場別)

平成 25 年度

事業場	受検者数	所見内訳						指導区分						
		正常範囲内	ST-T変化	Q波	高電位	不整脈	その他所見	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
吉田	414	318	10	1	5	11	86			27		68	9	310
常盤	192	128	8		2	11	53			5	5	37	8	137
小串・附属病院	715	614	17		2	12	79	1		22	6	67	22	597
附属学校	72	61				2	10			4		7		61
合計	1393	1121	35	1	9	36	228	1		58	11	179	39	1105

※ ST-T 変化には、ST 低下(上昇)・陰性 T・平低 T・高い T 波を含む

※ 不整脈には、上室性期外収縮・心室性期外収縮・房室ブロック・心房細動・WPW 症候群・ブルガダ症候群を含む

表 36 心電図検査結果(年齢別・性別)

平成 25 年度

年齢	性別	受検者数	所見内訳						指導区分						
			正常範囲内	ST-T変化	Q波	高電位	不整脈	その他所見	a1	b1	c1	c2	d2	d3	n3
～29	男	2	2												2
	女	11	10					1					1	1	9
	計	13	12					1					1	1	11
30～39	男	59	48	2			1	9			1		9	1	48
	女	66	52	3				12			3		10	2	51
	計	125	100	5			1	21			4		19	3	99
40～49	男	325	275	1		2	4	49			7	1	33	6	278
	女	345	291	5			6	47			6	2	40	13	284
	計	670	566	6		2	10	96			13	3	73	19	562
50～59	男	223	167	6	1	3	11	46	1		19	2	31	5	165
	女	202	167	8			7	24			10	4	20	8	160
	計	425	334	14	1	3	18	70	1		29	6	51	13	325
60～	男	112	74	8		4	6	30			9	2	26	1	74
	女	48	35	2			1	10			3		9	2	34
	計	160	109	10		4	7	40			12	2	35	3	108
合計	男	721	566	17	1	9	22	134	1		36	5	99	13	567
	女	672	555	18			14	94			22	6	80	26	538
	計	1393	1121	35	1	9	36	228	1		58	11	179	39	1105

心電図検査は、原則として 35 歳及び 40 歳以上の者に実施しているが、39 歳未満の者でも、診察時に医師から指示があった者については検査を実施している。心電図所見の確定と指導区分は、平成 22 年度から、より効率良く判定を行うため、診察医が必要と認めた場合には、保健管理センター非常勤医師(循環器専門医)に判定を依頼している。受検者数は年々増加しているものの、有所見者数はそれに伴って増加する傾向はみられていない。

2. 特定業務従事者健康診断

1) 対象と概要

保健管理センターでは、労働安全衛生規則第 45 条に基づき、年に 2 回、規定の業務(労働安全衛生規則第 13 条第 1 項第 2 号*)に従事する職員に対し、特定業務従事者健康診断を行っている。

各地区の実施時期、及び実施場所は表 37 のとおりであるが、健診項目は定期健康診断と同様のため、第 1 回目は定期健康診断と合わせて行っている。また、第 2 回目の項目は、身長・体重、血圧、視力、聴力、尿検査であり、胸部 X 線検査、血液検査、心電図検査は医師の判断により省略可能としているが、必要に応じて行う場合もある。

平成 24 年度、25 年度における各事業場の該当者数(延べ数)は、表 38～39 のとおりである。

表 37 各地区の実施日および実施場所

地区名	実施時期				実施場所
	平成 24 年度		平成 25 年度		
	1 回目	2 回目	1 回目	2 回目	
吉田	8 月下旬	2 月中旬	8 月下旬	2 月上旬	保健管理センター
常盤	9 月上旬	2 月上旬	9 月上旬	2 月上旬	工学部保健室(保健管理センター常盤分室)
小串	9 月中旬	3 月上旬	9 月中旬	3 月上旬	医学部医心館(保健管理センター小串分室)

表 38 特定業務従事者健康診断対象者

平成 24 年度

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	計
吉田	0	1	17	12	0	0	0	0	0	1	7	5	1	25
常盤	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	5	0	0	7
小串	0	0	4	3	0	0	0	0	0	5	3	2	8	25
附病	0	14	44	1	0	0	10	5	0	663	7	1	125	869
附学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表 39 特定業務従事者健康診断対象者

平成 25 年度

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	計
吉田	0	1	18	16	0	0	0	0	0	5	11	7	5	34
常盤	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	5	0	0	7
小串	0	0	6	11	0	0	0	0	0	9	3	1	8	38
附病	0	6	62	1	0	0	9	6	0	685	2	2	148	921
附学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

*労働安全衛生規則第 13 条第 1 項第 2 号

イ	多量の高熱物体を取り扱う業務及び著しく暑熱な場所における業務
ロ	多量の低温物体を取り扱う業務及び著しく寒冷な場所における業務
ハ	ラジウム放射線、エックス線その他の有害放射線にさらされる業務
ニ	土石、獣毛等のじんあい又は粉末を著しく飛散する場所における業務
ホ	異常気圧下における業務
ヘ	さく岩機、鉋打機等の使用によって、身体に著しい振動を与える業務
ト	重量物の取扱い等重激な業務
チ	ボイラー製造等強烈な騒音を発する場所における業務
リ	坑内における業務
ヌ	深夜業を含む業務
ル	水銀、砒素、黄りん、弗化水素酸、塩酸、硝酸、硫酸、青酸、か性アルカリ、石炭酸 その他これらに準ずる有害物を取り扱う業務
ヲ	鉛、水銀、クロム、砒素、黄りん、弗化水素、塩素、塩酸、硝酸、亜硫酸、硫酸、一酸化炭素、二硫化炭素、青酸、ベンゼン、アニリンその他これらに準ずる有害物のガス、蒸気又は粉じんを発散する場所における業務
ワ	病原体によって汚染のおそれが著しい業務

2) 方法と手順

対象者の調査に関しては、例年7～8月頃、健康診断の希望項目(便潜血反応検査、喀痰検査等)の調査と合わせて、安全衛生対策室及び各部局の健康診断担当係が実施している。調査内容は有害業務従事の有無、従事している場合は、その業務内容及び頻度、そして複数該当する場合は、主として従事する有害業務は何か、である。調査結果は各事業場の健康診断担当係及び専任衛生管理者等が確認し、主に週1回以上、有害業務に従事していると回答した者を対象に、健康診断を実施している。

実施方法は、ほぼ定期健康診断と同様であり、対象者に事前に問診票を送付し、健診当日までに記入し持参するよう指示している。しかし、受診者が少ない場合は事前に配布せず、健康診断受診時に記入してもらうこともある。

また、附属病院の特定業務従事者(看護師)は各病棟で必要な検査を行い、検査結果を問診票に記入して保健管理センターに送付してもらっている。各検査結果と問診票の記載内容は保健管理センター医師が確認し、有所見者には指定された期間に保健管理センターで診察を受けるよう指示している。本来であれば全員に診察をすることが望ましいが、限られた人員と日数で行っているため、対象を絞って実施せざるを得ないのが現状である。

3) 受診状況

平成24年度及び25年度の特定業務従事者健康診断の受診状況を、表40～41に示した。表中の数字は、各検査の有所見者数を示している。なお、前述のとおり、第1回の特定業務従事者健康診断は、定期健康診断と合わせて実施しているため、ここでは第2回目だけの受診状況を示す。

なお、職員に関する健康診断結果は、各事業場専任衛生管理者がとりまとめた上で、所轄の労働基準監督署に報告している。

表40 第2回特定業務従事者健康診断 受診状況

平成24年度

	受診者	有所見者数						有所見者数	要精査
		聴力検査 1000Hz	聴力検査 4000Hz	聴力検査 (オージオメーター 以外の方法)	血圧	尿糖	尿蛋白		
吉田	25	0	0	–	3	0	0	3	1
常盤	7	–	–	0	0	0	0	0	0
小串	24	0	1	2	3	2	0	7	2
附病	843	1	1	0	42	13	10	61	6
合計	899	1	2	2	48	15	10	71	9

表41 第2回特定業務従事者健康診断 受診状況

平成25年度

	受診者	有所見者数						有所見者数	要精査
		聴力検査 1000Hz	聴力検査 4000Hz	聴力検査 (オージオメーター 以外の方法)	血圧	尿糖	尿蛋白		
吉田	34	0	0	–	6	0	0	6	2
常盤	7	0	0	–	1	0	0	0	0
小串	30	1	1	1	6	2	2	11	1
附病	870	1	1	3	44	6	17	70	19
合計	941	2	2	4	57	8	19	87	22

3. 特殊健康診断(電離放射線健康診断)

1) 対象と概要

山口大学では、放射線障害防止法、電離放射線障害防止規則および山口大学放射線障害予防規程に基づき、放射線取扱者となるための登録（更新含む）の申請を行った職員及び学生を対象として電離放射線健康診断を実施している。このうち、保健管理センターは、医学部付属病院所属職員を除く健康診断実施を担当しており、この健康診断を受診することは、学内で放射線を取り扱うための必須条件である。なお、附属病院や外部医療機関にて同様の健康診断を受診し、その結果を提出することでも、保健管理センターでの受診に代えることができる。

健康診断は年2回実施しており、実施時期は原則として第1回目は7月上旬、第2回目は2月上旬である。しかし、小串事業場や吉田事業場の一部では、定期の健康診断実施期間外の4月や10～11月に臨時で健康診断を実施することがある。これは、特段の事情により定期の実施期間以前から放射線業務に従事する必要がある（新規・中途採用者や急な実験がある等の）場合の例外的措置である。

健康診断の実施項目は、表42に示すとおりである。新規受診者には必須検査項目を実施しているが、定期受診者では被ばく歴や自覚症状等の調査結果のもと、法令等に基づく医師の判断により検査項目を省略することもできる。

表 42 放射線健康診断 検査項目

	被ばく歴 自覚症状等の調査	血液※	皮膚	白内障
新規受診	○	○	○	△
定期受診	○	△	△	△

※白血球数及び白血球百分率の検査、赤血球数及び血色素量又はヘマトクリット値の検査

○：必須項目 △：法令等に基づき医師の判断により省略することができる項目

2) 方法と手順

健康診断に先立ち、問診票の配布を行う。問診票は各事業場の健康診断担当係が配布し、本人による記入、責任者による内容をチェックの後、担当係が回収し、保健管理センターに送付される。

この問診票をもとに、保健管理センター医師が被ばく歴や自覚症状、過去の検査結果や本人の検査希望等をチェックし、検査項目省略の可否を決定している。検査項目（血液・皮膚等）実施対象者には、指定された日に保健管理センターを受診するよう、担当係より通知される。

検査結果は、担当係を通じて対象者へ通知される。有所見者に対しては、必要に応じて外部医療機関を紹介し、また必要に応じて管理者や関連委員会に報告等をしている。なお、職員に関する健康診断結果は、各事業場専任衛生管理者がとりまとめた上で、所轄の労働基準監督署に報告している。

3) 受診状況

平成24年度及び平成25年度の放射線健康診断受診状況を表43～46に示した。第1回目は4～5月（臨時）、7月（定期）に実施した結果の総計であり、第2回目は10～11月（臨時）、2月（定期）、3月（臨時）の総計である。また、受診者数は外部医療機関による検査結果を提出した者も含めた数である。第1回目は新規登録者が多いため、検査対象者数が増える傾向にある。

表 43 第 1 回電離放射線健康診断受診状況 平成 24 年度

		従事者	検査 省略可	検査 対象者	受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	67	49	18	18	1
	学生	169	87	82	82	10
常盤	職員	31	29	2	2	0
	学生	209	112	97	96(※未受診 1)	6
小串	職員	95	91	4	4	0
	学生	21	15	6	6	1
合計	職員	193	169	24	24	1
	学生	399	214	185	184	17

表 44 第 2 回電離放射線健康診断受診状況 平成 24 年度

		従事者	検査 省略可	検査 対象者	受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	70	54	16	16	3
	学生	175	166	9	9	2
常盤	職員	31	31	0	0	0
	学生	199	197	2	2	0
小串	職員	93	88	5	5	0
	学生	23	20	3	3	0
合計	職員	194	173	21	21	3
	学生	397	383	14	14	2

表 45 第 1 回電離放射線健康診断受診状況 平成 25 年度

		従事者	検査 省略可	検査 対象者	受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	64	50	14	14	3
	学生	166	84	82	82	7
常盤	職員	28	26	2	2	1
	学生	208	108	100	100	10
小串	職員	89	77	12	11(※未受診 1)	3
	学生	23	9	14	13(※未受診 1)	2
合計	職員	181	153	28	27	7
	学生	397	201	196	195	19

表 46 第 2 回電離放射線健康診断受診状況 平成 25 年度

		従事者	検査 省略可	検査 対象者	受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	70	51	19	19	0
	学生	173	0	9	9	0
常盤	職員	27	27	0	0	0
	学生	201	196	5	5	1
小串	職員	91	87	4	4	0
	学生	23	23	0	0	0
合計	職員	188	165	23	23	0
	学生	397	219	14	14	1

4. 特殊健康診断(有機溶剤・特定化学物質)

1) 対象と概要

有機溶剤中毒予防規則(以下有機則)、及び特定化学物質等障害予防規則(以下特化則)等に基づき、規定された薬品を常時取り扱う職員を対象に、年2回、特殊健康診断を実施している。

実施時期に関しては、基本的に放射線健康診断と同様の7月上旬頃(第1回)、2月上旬頃(第2回)であるが、事業場によって多少異なっている。健康診断項目は、薬品ごとに異なるため、それぞれの規則に定められている検査項目に従っている。

大学は企業とは違い、少量多種の薬品を取り扱い、使用方法や、使用頻度が一定ではないことなどから、対象者の選定は特に困難である。また、取り扱う薬品によって求められる検査項目が異なるため、健康診断の準備や事後整理が複雑であるが、受診者一人一人の状況を確認しながら実施している。

2) 方法と手順

健康診断に先立ち有機溶剤及び特定化学物質の使用状況を Web 調査もしくは紙媒体による調査を行う。なお、週に1回以上使用していることを目安に対象者を選定しているが、週1回未満の使用状況でも健康診断受診を希望する者には、健診を実施することとしている。

また、使用薬品によって問診項目や検査項目が異なることから、健康診断当日までに各受診者に対応した内容の問診票を作成している。他の健診に比べて対象者が少ないため、問診票は事前に配布せず、健康診断受診の際に手渡し、それぞれに必要な検査項目を受診してもらっている。

なお、対象者の中には、特定業務従事者健康診断の有害業務と重複し、複数回受診が必要な者もいる。受診項目の混乱を避けるため、特定業務従事者健康診断と特殊健康診断は別日程で計画しているが、人数が少ない場合は、受診者の負担軽減のために、同時に実施する場合もある。

3) 受診状況

平成24年度及び平成25年度の有機溶剤健康診断・特定化学物質健康診断の実施人数及び結果を表47～54に示した。表中の数字は、各検査における受診者数を示している。有所見者数は、他覚所見を除く実施項目で要精査以上に該当する所見があった者の数である。なお、受診対象者の業務内容は、いずれも試験研究である。

なお、これらの健康診断結果は、各事業場専任衛生管理者が取りまとめた上で、所轄の労働基準監督署に報告している。

表 47 第1回有機溶剤健康診断実施結果(単位:人) 平成24年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物	
吉田	8	8	8	8	0	0	0	0
常盤	5	5	5	5	0	2	5	0
小串	10	10	10	10	0	0	5	1
附属病院	6	6	6	6	0	0	6	0

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表 48 第2回有機溶剤健康診断実施結果(単位:人) 平成24年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物	
吉田	9	9	9	9	0	0	0	0
常盤	5	5	5	5	0	3	3	0
小串	9	9	9	9	0	0	4	1
附属病院	6	6	6	6	0	0	6	0

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表 49 第 1 回有機溶剤健康診断実施結果 (単位: 人) 平成 25 年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物	
吉田	13	13	13	13	0	0	0	0
常盤	4	4	4	4	0	3	5	0
小串	8	8	8	8	0	0	4	2
附属病院	8	8	8	8	0	0	6	1

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表 50 第 2 回有機溶剤健康診断実施結果 (単位: 人) 平成 25 年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物	
吉田	11	11	11	11	0	0	0	0
常盤	3	3	3	3	0	2	1	0
小串	17	17	17	17	0	0	4	2
附属病院	8	8	8	8	0	0	6	0

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表 51 第 1 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位: 人) 平成 24 年度

業務コード	002	104	211	221	228	230	有所見
薬品名	ベンジジン (過去)	ホルトリジン (過去)	クロム酸	重クロム酸	弗化水素	ベン ゼン	
常盤					1		0
小串	1	1	1	1		1	0
附病			2	2		1	0

表 52 第 2 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位: 人) 平成 24 年度

業務コード	002	104	211	221	228	230	有所見
薬品名	ベンジジン (過去)	ホルトリジン (過去)	クロム酸	重クロム酸	弗化水素	ベン ゼン	
常盤					1		
小串	1	1	1	1		1	0
附病			2	2		1	0

表 53 第 1 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位: 人) 平成 25 年度

業務コード	002	104	211	221	230	有所見
薬品名	ベンジジン (過去)	ホルトリジン (過去)	クロム酸 (過去)	重クロム酸	ベンゼン	
小串	1	1	1	1	1	0
附病			1	1	1	0

表 54 第 2 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位: 人) 平成 25 年度

業務コード	002	104	211	221	230	有所見
薬品名	ベンジジン (過去)	ホルトリジン (過去)	クロム酸 (過去)	重クロム酸	ベン ゼン	
小串	1	1	1	1	1	0
附病			1	1	1	0

5. VDT 健康診断

1) 対象と概要

VDT (Visual Display Terminals) 作業の労働衛生管理については、従来、昭和 60 年 12 月 20 日付け基発第 705 号「VDT 作業のための労働衛生上の指針について」に基づき健康診断を実施してきたが、近年の職場の急速な情報技術化の進展に伴い心身の疲労を訴える作業が増加してきたことを受け、平成 14 年 4 月に「VDT 作業における労働衛生管理のためのガイドライン (厚生労働省)」が発表された。

山口大学では、これを受けて、平成 15 年度からガイドラインに沿うように「VDT 健康診断対象者調査票」を作成するとともに、職員が VDT 作業による健康障害リスクを適切に管理できるよう支援するための体制の見直しを行った。表 55 に、各地区の実施日および実施場所を示す。

表 55 各地区の実施日および実施場所

		吉田	常盤	小串	光
平成 24 年度	実施日	11/29	11/30	12/14	11/20
	場 所	保健管理センター リフレッシュルーム	保健管理センター 工学部分室 (保健室)	保健管理センター 医学部分室 (医心館2階)	附属光小/中学校 保健室
平成 25 年度	実施日	12/12	12/5	12/20	12/10
	場 所	保健管理センター リフレッシュルーム	保健管理センター 工学部分室 (保健室)	保健管理センター 医学部分室 (医心館2階)	附属光小学校 保健室

2) 方法と手順

VDT 作業とは、ディスプレイ、キーボード等により構成された VDT 機器を使用して、データの入力・検索・照合等、文書・画像等の作成・編集・修正、プログラミング、監視等を行う作業であり、これらの作業に従事する全職員を対象としている。これに該当すると思われる職員には、安全衛生対策室を通じて、事前調査として「VDT 健康診断対象者調査票」により、VDT 作業の種類と作業時間、自覚症状等についての作業従事状況調査を行った後、保健管理センターの医師が健康診断の省略可否判定を行っている。

健康診断省略不可とされた職員には、安全衛生対策室を通じて、「眼精疲労の自覚症状についての質問表」と「健康診断票(VDT 作業従事者用)」を事前配付し、健康診断日程を通知している。検査項目は、①業務歴調査、②既往歴及び自覚症状の有無、③眼の検査(視力、眼位、調節機能)、④筋骨格系に関する検査(握力)であり、健康診断の実施自体は外部健診業者に委託しており、報告書は紙媒体で送付される。

3) 実施状況

平成 24 年度と平成 25 年度の各地区の受診者数と判定区分を表 56 に示した。

表 56 各地区の実施状況

		受診者数 (人)	判定区分(点)				
			10	9~8	7~5	4~1	0
平成 24 年 度	吉田事業場	4	2	2	0	0	0
	常盤事業場	4	0	4	0	0	0
	小串事業場	6	0	4	0	2	0
	光事業場	13	7	6	0	0	0
平成 25 年 度	吉田事業場	2	0	2	0	0	0
	常盤事業場	2	0	2	0	0	0
	小串事業場	7	1	6	0	0	0
	光事業場	10	4	6	0	0	0

※10: 作業に常時従事可、9~8: 作業に常時従事可。眼疲労が強い場合には作業時間の短縮を考慮、

7~5: 総作業時間2時間以内。1連続作業時間 30 分以内、4~1: 作業時間をなるべく短縮、0: 作業は避けること

6. がん検診

1) 対象と概要

山口大学では、健康増進法第 19 条の 2 に基づく健康増進事業として位置づけられているがん検診(肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん)を 40 歳以上の希望者に対して実施している(乳・子宮がんについては 20 歳以上の全女性職員)。がん検診に関しては、安全衛生対策室が実施主体であり、対策室が実施時期や方法などの計画立案を行い、外部業者に委託契約して検診を実施している。したがって、保健管理センターの関与としては、検診会場の事前準備(設営)と必要に応じて当日の受付補助を担っている。

各がん検診の対象者と検診項目を表 57 に、平成 24 年度及び平成 25 年度の各地区の実施時期及び実施場所を表 58 に示した。

表 57 がん検診の対象者および検査内容

検診項目	対象者	検査内容
肺がん検診	40歳以上	問診、胸部X線(間接)、喀痰検査
大腸がん検診	40歳以上	免疫便潜血反応検査(2日法)
胃がん検診	40歳以上	問診、胃部X線検査、※採血(萎縮性胃炎検診<ペプシノーゲン法>)
乳がん検診	全女性職員	問診、視触診、乳房 X 線検査(マンモグラフィ) ※マンモグラフィは2年に1回の受診を目安(生まれ年で対象者を調整)
子宮がん検診	全女性職員	問診、視診、内診、細胞診(子宮頸部)

表 58 各地区の実施日および実施場所

年度	地区名		肺がん	大腸がん	胃がん	子宮がん	乳がん
平成 24 年度	吉田	実施日	8/1~2 8/20~27	8/1~2 8/20~27	11/28~29 ※採血 11/29	10/30~31	10/30~31
		場 所	保健管理センター リフレッシュルーム	保健管理センター ※検体回収のみ	保健管理センター リフレッシュルーム	保健管理センター リフレッシュルーム	保健管理センター リフレッシュルーム
	常盤	実施日	9/5~7	9/5~7	11/30	11/1	11/1
		場 所	保健管理センター 常盤分室(保健室)	常盤分室(保健室) ※検体回収のみ	X線:会議棟横 採血:保健室	工学部会議棟横	工学部会議棟横
	小串	実施日	9/12~24	9/12~24	12/11~14 ※採血 12/12~14	10/15~18,22	10/15~18,22 ※視触診 10/16,18,22
		場 所	医心館 1 階	小串分室(医心館) ※検体回収のみ	X線:医心館玄関前 採血:医心館2F	医心館玄関前	医心館玄関前
	光	実施日	8/6	8/6	11/20	10/16	10/16
		場 所	中学校保健室横	中学校保健室 ※検体回収のみ	X線:室積公園 採血:中学校保健室	室積公園駐車場	室積公園駐車場
平成 25 年度	吉田	実施日	7/25~26 8/19~26	7/25~26 8/19~26	12/11~12 ※採血 12/12	10/3,8	10/3,8
		場 所	保健管理センター リフレッシュルーム	保健管理センター ※検体回収のみ	保健管理センター リフレッシュルーム	保健管理センター リフレッシュルーム	保健管理センター リフレッシュルーム
	常盤	実施日	9/4~6	9/4~6	12/5	10/24	10/24
		場 所	保健管理センター 常盤分室(保健室)	常盤分室(保健室) ※検体回収のみ	X線:会議棟横 採血:保健室	工学部会議棟横	工学部会議棟横
	小串	実施日	9/10~20	9/10~20	12/17~20 ※採血 12/18~20	11/21~22, 26~29	11/21~22, 26~29
		場 所	医心館 1 階	小串分室(医心館) ※検体回収のみ	X線:医心館玄関前 採血:医心館2F	医心館玄関前	医心館玄関前
	光	実施日	8/6	8/6	12/10	10/16	10/16
		場 所	中学校保健室横	中学校保健室 ※検体回収のみ	X線:室積公園 採血:中学校保健室	附属光小・中学校	附属光小・中学校

2)方法と手順

(1) 肺がん検診

40歳以上の全職員を対象に肺がん検診を実施している。実施時期と実施場所は表54に示す通りで、一般定期健康診断(基本健診)として実施される胸部X線検査(間接撮影)を肺がん検診用としても利用し、読影する際に判定を考慮して実施している。具体的な手順としては、胸部X線検査は年間契約により委託した健診業者所有の検診車で実施しており、喀痰検査については、事前に安全衛生対策室を通じて受検希望の有無を調査し、希望者には肺がん検診受診票とともに事前配付を行っている。また、受検当日までに喀痰検査対象者名簿を準備し、検診当日に検体を回収し、対象者名簿とともに健診業者に受け渡しをしている。検査結果については、健診終了後2～3週間後を目安に、健診業者から電子データで報告書を受け取っている。

(2) 大腸がん検診

40歳以上の検査を希望する職員を対象に実施している。実施時期と実施場所は表54に示す通りで、一般定期健康診断(基本健診)の時期に合わせて実施している。具体的な手順としては、事前に安全衛生対策室を通じて便潜血反応検査の希望の有無を調査し、希望者には基本健診問診票とともに検査容器を事前配付している。健康診断該当日までに2日分を採便し、健康診断受診時に受付にて回収を行っている。回収した検体は、年間契約した外部業者に回収日ごとに、検体受付名簿とともに手渡ししている。検査結果は、健診業者からペーパーで報告書を受け取っている。

(3) 胃がん検診

40歳以上の検査を希望する職員を対象に実施している。実施時期と実施場所は表54に示した通りである。具体的な手順としては、事前に安全衛生対策室を通じて希望調査を行い、胃部X線検査と採血(ペプシノゲン判定検査)のいずれかの方法を選択してもらい実施している。なお、採血(ペプシノゲン判定検査)を胃がん検診として実施することについて専門家から疑義があったが、受診者希望者の需要を考慮し、平成23年度の労働安全衛生委員会で審議の結果、萎縮性胃炎検診として、将来的な廃止を前提とした当面の特別措置として継続して実施することとなった。胃部X線検査希望者には、事前に問診票を配付し、安全衛生対策室が受付用に受検者名簿を作成している。胃部X線検査は年間契約により委託した健診業者所有の検診車で実施、採血検査についても外部業者が実施しており、各事業場の保健管理センターでは1室を検査室として提供している。検査結果は、健診業者から電子データとペーパーで報告書を受け取っている。

(4) 子宮がん検診

平成16年度までは対象者を40歳以上の女性職員としていたが、平成17年度以降は全女性職員(20歳以上)を対象に実施している。実施時期と実施場所は表54に示した通りである。具体的な手順としては、事前に安全衛生対策室を通じて希望調査を行い、希望者には事前に問診票を配付し、安全衛生対策室が受付用に受検者名簿を作成している。年間契約により委託した健診業者所有の検診車で視診、内診、細胞診を実施している。検査結果は、健診業者から電子データとペーパーで報告書を受け取っている。なお、附属光小・中学校事業場については、平成22年度までは指定病院(光市立光総合病院)での個別受診という形式で実施していたが、平成23年度からは、他地区と同様に年間契約した委託業者所有の検診車で実施している。

(5) 乳がん検診

平成16年度までは対象者を40歳以上の女性職員としていたが、平成17年度以降は全女性職員(20歳以上)を対象に実施している。実施時期と実施場所は表54に示した通りである。具体的な手順としては、事前に安全衛生対策室を通じて希望調査を行い、視触診と乳房X線検査(マンモグラフィ)のいずれかの方法を選択してもらい実施している。なお、マンモグラフィは平成16年度から追加項目として導入し、2年に1回の受診を目安としている(生まれ年(西暦)で対象人数を調整している)。希望者には事前に問診票を配付し、安全衛生対策室が受付用に受検者名簿を作成している。マンモグラフィは年間契約により委託した健診業者所有の検診車で実施、視触診についても外部業者が実施しており、各事業場の保健管理センターでは1室を検査室として提供している。検査結果は、健診業者から電子データとペーパーで報告書を受け取

っている。なお、附属光小・中学校事業場については、平成 22 年度までは指定病院(光市立光総合病院)での個別受診という形式で実施していたが、平成 23 年度からは、他地区と同様に年間契約した委託業者所有の検診車で実施している。

3) 受診状況
(1) 肺がん検診

平成24年度と平成25年度の肺がん検診受診状況を表59～62に示した。

表59 肺がん検診結果(事業場別)

平成24年度

事業場	胸部間接撮影				喀痰検査					
	受検者数	指導区分			対象者	受検者	指導区分			
		D3	D2	C1			異常なし	要観察	要精査	検査不能
吉田	353	340	11	2	74	53	37			16
常盤	164	144	19	1	58	47	31			216
小串・附属病院	631	543	75	13	124	85	66			19
附属学校	67	66	1		21	10	6			4
合計	1215	1093	106	16	277	195	140			55

表60 肺がん検診結果(年齢、性別)

平成24年度

年齢	性別	胸部間接撮影				喀痰検査					
		受検者数	指導区分			対象者	受検者	指導区分			
			D3	D2	C1			異常なし	要観察	要精査	検査不能
40～49	男	338	316	16	6	105	71	49			22
	女	320	298	19	3	50	28	16			12
	計	658	614	35	9	155	99	65			34
50～59	男	196	177	18	1	67	44	38			6
	女	208	177	27	4	27	16	10			6
	計	404	354	45	5	94	60	48			12
60～	男	43	27	15	1	21	30	22			8
	女	110	98	11	1	7	6	5			1
	計	153	125	26	2	28	36	27			9
合計	男	577	600	49	8	193	145	109			36
	女	638	493	59	8	84	50	31			19
	計	1215	1093	106	16	277	195	140			55

表61 肺がん検診結果(事業場別)

平成25年度

事業場	胸部間接撮影				喀痰検査					
	受検者数	指導区分			対象者	受検者	指導区分			
		D3	D2	C1			異常なし	要観察	要精査	検査不能
吉田	365	330	24	11	81	75	61			14
常盤	173	158	10	5	58	50	44			6
小串・附属病院	638	566	46	26	127	110	80			30
附属学校	64	56	6	2	13	7	6			1
合計	1240	1110	86	44	279	242	191			51

表62 肺がん検診結果(年齢、性別)

平成25年度

年齢	性別	胸部間接撮影				喀痰検査					
		受検者数	指導区分			対象者	受検者	指導区分			
			D3	D2	C1			異常なし	要観察	要精査	検査不能
40～49	男	323	298	18	7	106	98	75			23
	女	349	327	11	11	48	37	24			13
	計	672	625	29	18	154	135	99			36
50～59	男	210	185	18	7	73	63	55			8
	女	202	177	17	8	22	17	13			4
	計	412	362	35	15	95	80	68			12
60～	男	110	87	15	8	22	18	17			1
	女	46	36	7	3	8	9	7			2
	計	156	123	22	11	30	27	24			3
合計	男	643	570	51	22	201	179	147			32
	女	597	540	35	22	78	63	44			19
	計	1240	1110	86	44	279	242	191			51

(2) 大腸がん検診

平成24年度と平成25年度の大腸がん検診受診状況を表63～64に示した。

表63 大腸がん検診結果(事業場別)

事業場	平成24年度			平成25年度		
	受検者数	結果		受検者数	結果	
		陰性	陽性		陰性	陽性
吉田	99	95	4	109	103	6
常盤	79	75	4	82	77	5
小串・附属病院	224	213	11	223	213	10
附属学校	34	34	0	25	25	0
合計	436	417	19	439	418	21

表64 大腸がん検診結果(年齢、性別)

年齢	性別	平成24年度			平成25年度		
		受検者数	結果		受検者数	結果	
			陰性	陽性		陰性	陽性
～39	男	6	6	0	2	2	0
	女	2	2	0	1	1	0
	計	8	8	0	3	3	0
40～49	男	111	105	6	121	118	3
	女	94	92	2	92	89	3
	計	205	197	8	213	207	6
50～59	男	76	75	1	93	89	4
	女	80	76	4	73	67	6
	計	156	151	5	166	156	10
60～	男	49	43	6	36	32	4
	女	18	18	0	21	20	1
	計	67	61	6	57	52	5
合計	男	242	229	13	252	241	11
	女	194	188	6	187	177	10
	計	436	417	19	439	418	21

(3) 胃がん検診

平成24年度と平成25年度の胃部X線検査結果を表65～68に示した。

表65 胃部X線検査結果(事業場別)

平成24年度

事業場	受検者数	異常なし	有所見者	所見内訳(延べ数)										事後措置 要精査			
				欠損影	ニツシエ	粘膜集中	粘膜異常	壁硬化	辺縁不整	変形	透亮像	胃底腺ポリリーブ	粘膜腫瘍疑		手術胃		
吉田	58	53	5				1			2	1	1					5
常盤	19	14	5			1	1				1	1	1	1			4
小串・附属病院	121	107	14		1	1	4			1	1	3	4		1		10
附属学校	25	25															
合計	223	199	24		1	2	6			3	3	5	5		1		19

※ 所見はあるが、事後措置としては「ほぼ正常範囲」。

表66 胃部X線検査結果(年齢、性別)

平成24年度

年齢	性別	受検者数	異常なし	有所見者	所見内訳(延べ数)										事後措置 要精査		
					欠損影	ニツシエ	粘膜集中	粘膜異常	壁硬化	辺縁不整	変形	透亮像	胃底腺ポリリーブ	粘膜腫瘍疑		手術胃	
40～49	男	52	48	4			1	1			1		1	1			3
	女	54	46	8		1	1	1				3	3		1		5
	計	106	94	12		1	2	2			1	3	4	1			8
50～59	男	39	36	3				1		1	1		1	1			2
	女	45	42	3				1			1	1					3
	計	84	78	6				2		1	2	1	1				5
60～	男	27	22	5				2		2	1						5
	女	6	5	1								1					1
	計	33	27	6				2		2	1	1					6
合計	男	118	106	12			1	4		3	3		2				10
	女	105	93	12		1	1	2				5	3	1			9
	計	223	199	24		1	2	6		3	3	5	5	1			19

表67 胃部X線検査結果(事業場別)

平成25年度

事業場	受検者数	異常なし	有所見者	所見内訳(延べ数)										事後措置 要精査			
				欠損影	ニツシエ	粘膜集中	粘膜異常	壁硬化	辺縁不整	変形	透亮像	胃底腺ポリリーブ	粘膜腫瘍疑		手術胃		
吉田	56	54	2			1						1					2
常盤	18	15	3								1		2				3
小串・附属病院	113	103	10			1	3			2	1	3	2				10
附属学校	13	12	1										1				1
合計	200	184	16			2	3			2	2	4	5				16

表68 胃部X線検査結果(年齢、性別)

平成25年度

年齢	性別	受検者数	異常なし	有所見者	所見内訳(延べ数)										事後措置 要精査		
					欠損影	ニツシエ	粘膜集中	粘膜異常	壁硬化	辺縁不整	変形	透亮像	胃底腺ポリリーブ	粘膜腫瘍疑		手術胃	
40～49	男	46	43	3			1	2			1						3
	女	53	49	4				1				2	2				4
	計	99	92	7			1	3			1	2	2				7
50～59	男	39	35	4			1			1		1	1				4
	女	42	37	5						1	1	1	2				5
	計	81	72	9			1			2	1	2	3				9
60～	男	17	17														
	女	3	3														
	計	20	20														
合計	男	102	95	7			2	2		1	1	1	1				7
	女	98	89	9				1		1	1	3	4				9
	計	200	184	16			2	3		2	2	4	5				16

平成24年度と平成25年度のペプシノゲン判定結果を表69～72に示した。

表69 ペプシノゲン検査結果(事業場別)

平成 24年度

事業場	受検者数	一次健診判定結果				事後措置
		陰性	陽性	中等度陽性	強陽性	要精査
吉田	32	29	3			3
常盤	25	23	1		1	2
小串・附属病院	109	101	4	2	2	8
附属学校	3	3				
合計	169	156	8	2	3	13

表70 ペプシノゲン検査結果(年齢、性別)

平成 24年度

年齢	性別	受検者数	一次健診判定結果				事後措置
			陰性	陽性	中等度陽性	強陽性	要精査
40～49	男	32	31	1		1	2
	女	51	50	1			1
	計	84	81	2		1	3
50～59	男	26	3	1		2	3
	女	40	34	4	2		6
	計	66	57	5	2	2	9
60～	男	35	34	1			1
	女	41	41				
	計	76	75	1			1
合計	男	71	65	3		3	6
	女	98	91	5	2		7
	計	169	156	8	2	3	13

表71 ペプシノゲン検査結果(事業場別)

平成 25年度

事業場	受検者数	一次健診判定結果				事後措置
		陰性	陽性	中等度陽性	強陽性	要精査
吉田	23	22	1			1
常盤	19	18			1	1
小串・附属病院	5	4			1	1
附属学校	118	102	7	8	1	16
合計	165	146	8	10	1	19

表72 ペプシノゲン検査結果(年齢、性別)

平成 25年度

年齢	性別	受検者数	一次健診判定結果				事後措置
			陰性	陽性	中等度陽性	強陽性	要精査
40～49	男	29	27	1	1		2
	女	53	46	3	4		7
	計	82	73	4	5		9
50～59	男	25	24			1	1
	女	36	28	4	4		8
	計	61	52	4	4	1	9
60～	男	12	12				
	女	10	9		1		1
	計	22	21		1		1
合計	男	66	63	1	1	1	3
	女	99	83	7	9		16
	計	165	146	8	10	1	19

(4) 子宮がん検診

平成24年度と平成25年度の子宮がん検診受診状況を表73～76に示した。

表73 子宮がん検診結果(事業場別)

平成24年度

事業場	受検者数	内診所見				細胞診(class分類)						事後措置		
		卵巣腫瘍	子宮腫瘍	子宮頸管ポリープ	その他	I	II	III a	III b	IV	V	異常なし	要観察	要精査
吉田	126				4	108	16	2				121		5(3)
常盤	50					30	20					50		
小串・附属病院	603		2	5	15	503	98	1	1			579	1(1)	23(21)
附属学校	47					36	11					47		
合計	826		2	5	19	677	145	3	1			797	1(1)	28(24)

表74 子宮がん検診結果(年齢別)

平成24年度

年齢	受検者数	内診所見				細胞診(class分類)						事後措置		
		卵巣腫瘍	子宮腫瘍	子宮頸管ポリープ	その他	I	II	III a	III b	IV	V	異常なし	要観察	要精査
～29	214			1	13	179	35					200		14(14)
30～39	262				6	215	44	2	1			254		8(5)
40～49	195		1	3		162	32	1				190	1(1)	4(3)
50～59	129		1	1		99	30					127		2(2)
60～	26					22	4					26		
合計	826		2	5	19	677	145	3	1			797	1(1)	28(24)

事後措置の()内は内診所見などによる要観察数、要精査数

「要観察」の内診所見内訳は子宮腫瘍1名、「要精査」の内診所見内訳はカンジダ18名、子宮腫瘍1名、子宮頸管ポリープ5名

表75 子宮がん検診結果(事業場別)

平成25年度

事業場	受検者数	内診所見				細胞診(class分類)						事後措置		
		卵巣腫瘍	子宮腫瘍	子宮頸管ポリープ	その他	I	II	III a	III b	IV	V	異常なし	要観察	要精査
吉田	145			1	2	122	23					141		4(3)※
常盤	59				2	44	15					53	4(4)	2(2)
小串・附属病院	639		1	3	13	520	110	7	2			595	20(20)	24(15)
附属学校	51				2	45	6					49		2(2)
合計	894		1	4	19	731	154	7	2			838	24(24)	32(22)

表76 子宮がん検診結果(年齢別)

平成25年度

年齢	受検者数	内診所見				細胞診(class分類)						事後措置		
		卵巣腫瘍	子宮腫瘍	子宮頸管ポリープ	その他	I	II	III a	III b	IV	V	異常なし	要観察	要精査
～29	230			1	6	193	34	2	1			221		9(6)
30～39	299			1	7	249	44	5	1			279	6(6)	14(8)
40～49	214		1	1	6	176	38					198	9(9)	8(7)※
50～59	129			1		94	35					121	7(7)	1(1)
60～	22					19	3					20	2(2)	
合計	894		1	4	19	731	154	7	2			838	24(24)	32(22)

事後措置の()内は内診所見などによる要観察数、要精査数

「要観察」の内診所見内訳は子宮頸管ポリープ23名、子宮腔部びらん1名

「要精査」の内診所見内訳はカンジダ12名、子宮脱1名、子宮頸管ポリープ2名、子宮腫瘍あるいは卵巣腫瘍1名、子宮腫瘍疑い4名、ポリープ・子宮腫瘍1名、ポリープ・カンジダ1名

※細胞診はクラスIIであるがASC-US判定のため要精査者が1名含まれる

(5) 乳がん検診

平成24年度と平成25年度の乳がん検診受診状況を表77～80に示した。

表77 乳がん検診結果(事業場別)

平成 24年度

事業場	受検者数	視触診				マンモグラフィー							
		異常なし	有所見者	事後措置		異常なし	有所見者				事後措置		
				要観察	要精査		良性	良性 (悪性)	悪性 疑い	悪性	要観察	要精査	
吉田	136	66	3		3	59	4	4					4
常盤	53	21	2		2	28	1	1					1
小串・附属病院	494	139	10		10	314	10	21					21
附属学校	45	16				24	2	3					3
合計	728	242	15		15	425	17	29					29

表78 乳がん検診結果(年齢別)

平成 24年度

年齢	受検者数	視触診				マンモグラフィー							
		異常なし	有所見者	事後措置		異常なし	有所見者				事後措置		
				要観察	要精査		良性	良性 (悪性)	悪性 疑い	悪性	要観察	要精査	
～29	196	61	5		5	117	6	7					7
30～39	244	92	7		7	132	5	8					8
40～49	158	48	2		2	98	3	7					7
50～59	109	32	1		1	66	3	7					7
60～	21	9				12							
合計	728	242	15		15	425	17	29					29

表79 乳がん検診結果(事業場別)

平成 25年度

事業場	受検者数	視触診				マンモグラフィー							
		異常なし	有所見者	事後措置		異常なし	有所見者				事後措置		
				要観察	要精査		良性	良性 (悪性)	悪性 疑い	悪性	要観察	要精査	
吉田	159	56	3		3	90	3	7					7
常盤	61	25				36							
小串・附属病院	505	139	6		6	311	9	37	2	1			40
附属学校	50	10	1		1	36	2	1					1
合計	775	230	10		10	473	14	45	2	1			48

表80 乳がん検診結果(年齢別)

平成 25年度

年齢	受検者数	視触診				マンモグラフィー							
		異常なし	有所見者	事後措置		異常なし	有所見者				事後措置		
				要観察	要精査		良性	良性 (悪性)	悪性 疑い	悪性	要観察	要精査	
～29	204	47	2		2	142	2	11					11
30～39	266	88	3		3	157	5	12	1				13
40～49	183	54	5		5	108	3	13					13
50～59	97	28				57	3	7	1	1			9
60～	25	13				9	1	2					2
合計	775	230	10		10	473	14	45	2	1			48